

なごりや通信

第八号 平成二十二年一月
日本会議名古屋支部事務局

新年を迎えて、真正保守勢力結集を！

謹賀新年

昨年末十二月六日、日本会議愛知県本部として、一年に亘って実施してきました一連の「天皇陛下御即位二十年をお祝いする」祝賀行事を成功裡に終えることが出来ました。晴天の中、三百名ほどの参加のもと、津川雅彦氏のご講演も、中身の濃いお話でした。この一年日本会議愛知県本部として、名古屋支部、愛知女性の会の発足など、組織拡大も図りました。名古屋支部としては、愛知県本部の名古屋市内での行事への主体的取り組み、護国神社での月一回の清掃奉仕も軌道に乗ってきております。愛知女性の会も、すでに二回の講演会を開催し、確実に動き出しております。

この間、国政は、心ならずも、民主党への政権交代、自民党の壊滅的敗退という状況を生みました。鳩山由紀夫・小沢一郎二頭体制でかつ、小沢一郎に、国民新党、社民党の政策・展望なき主張に翻弄されている鳩山内閣は、まさに、大海をさまよう船の様相を見せています。見てくれだけは何か頑張っているように見せるべく、派手な動きをとっているも、中身の全くない状況です。目指す国の方向も、経済財政の全体的目標も、いまだ明確に示せず、何の為の無駄削除なのか、本来の事業仕訳になっていないのが実情です。その間に経済状況は一段と冷え込み、麻生前内閣が、作りこんでいた補正予算の執行停止をし

ておいて、今になり執行しておけばよかったような話で、新たな補正予算を検討する羽目に陥っている。普天間問題もどうするか、政府内、与党内で考えをうやむやに、二転三転させ、国際政治では許されない状況を作っているのが現状。米国もあきれ返っており、一番の被害をこうむるのは沖縄県民になろう。

一度は、民主党に政権をとらせても、安易な気持ちで、民主党に投票した多くのバカとしか言いようのない国民。その動きを抑えきれなかった保守勢力のふがいなさも否定はできない・・・などとぼやいてばかりでもはじまりません。目前に迫ってきている、外国人参政権はじめ十数件の亡国的法案提出の動き、これを何としても阻止することが大事。何としても時間がない。各新聞への投書、内閣、与党、地方議員への陳情のFAX、メールを活用しての発信、各法案反対署名活動への参加・・・各団体がバラバラに動くのではなく、横の連携をさらに強め、一丸となつての効率的運動の展開こそが、今必要と強く感じます。

年あらたまり、真正保守勢力の結集拡大を図ることこそが重要で、セクト主義的動きは断じて許されぬ時です。一致団結して運動を展開しようではありませんか。

日本会議 名古屋支部長 江 副 嘉 彦

愛知県護国神社清掃奉仕・次回は一月十七日朝八時〜九時、軍手持参下さい。小雨なら窓の拭き掃除をします。

日本の息吹を読みましよう 日本の息吹を勧めましよう